

サメハダマルケシゲンゴロウの日本からの初記録

稲畑憲昭

〒 600-8238 京都市下京区御方紺屋町 3-206

New record of *Hydrovatus stridulus* (Coleoptera, Dytiscidae) from Japan

Noriaki INAHATA

Abstract. *Hydrovatus stridulus* Biström, 1997 (Coleoptera, Dytiscidae) is recorded for the first time from Japan. This is the seventh species of this genus from Japan.

マルケシゲンゴロウ属 *Hydrovatus* は、我が国から6種記録されている(森・北山, 2002)。筆者は、日本未記録の本属の一種を採集し、博物館所蔵標本も確認したのでここに報告する。所蔵標本を調査させていただいた大阪市立自然史博物館(OMNHJ)の初宿成彦氏、愛媛大学ミュージアム(EUMJ)の吉富博之博士に厚くお礼申し上げる。吉富博士には文献の入手や発表の相談にももっていただいた。

サメハダマルケシゲンゴロウ (和名新称)
Hydrovatus stridulus Biström, 1997 (図1-6)

採集データ: 1♂, 1960. VII. 9, Nishinakama, Amami-Oshima, Japan, coll. T. Kikuti (EUMJ); 1♀,

1999. III. 28, En, Tatsugou Town, Amami-Oshima, leg. H. Nakanishi (EUMJ); 1♂, 1999. IV. 1, Kijoka, Ogimi Village, Okinawa, Japan, leg. H. Nakanishi (EUMJ); 2exs., 1970. V. 26, Ishigaki Is., coll. T. Hozumi (EUMJ); 1♂, 1991. Mar. 7, Nagura, Ishigaki-jima Is., leg. Akira Kitayama (OMNHJ); 1♂, 1999. III. 18-19, Takeda, Ishigaki Is., leg. H. Nakanishi (EUMJ); 1♀, 1990. VIII. 9, Komi, Iriomote-jima Is., leg. E. Matsui (OMNHJ); 8exs., 2015. IV. 1, Minapishi (ミナピシ), Hoshitate (干立), Iriomote-jima Is., leg. Noriaki Inahata (著者採集・保管); 11exs., 2015. IV. 2, Shirahama (白浜), Iriomote-jima Is., leg. Noriaki Inahata (著者採集・保管); 1ex., 1994. VIII. 27, Sonai, Yonaguni-jima, leg. M. Sato (EUMJ).

国内分布: 奄美大島, 沖縄島, 石垣島, 西表島,



図1-6. サメハダマルケシゲンゴロウ。1, 背面図; 2, 前胸腹板突起; 3, 交尾器側面; 4, 交尾器先端。5, 隆起線列stridulation file; 6, 触角。

与那国島。

備考：Biström (1997) により、マルケシゲンゴロウ *H. subtilis* と同じ *confertus* 種群に属する *Hydrovatus stridulus* Biström, 1997 と同定された。本種は、これまでにタイ、マレーシア、シンガポール (Biström, 1997)、ラオス (Brancucci & Biström, 2013) から記録がある。

体長は 2.5 mm。上翅は網状印刻が強くて鯨肌状になり、両側が平行で丸くならない (図 1)、前胸腹板突起は凸型になる (図 2)、交尾器は全体的に薄い (図 3)、先端は丸みを帯びた四角形になる (図 4)、オスの後基節にある隆起線列 *stridulation file* は中央付近が長い山型になる (図 5)、オスの触角は幅広く変形する (図 6) ことで近縁のマルケシと区別できる。マルケシは、上翅は網状印刻が弱くてツヤが強く、両側が丸まる、前胸腹板突起は三角形になる、交尾器は全体的に厚い、先端は丸みを帯びた三角形になる、オスの後基節にある隆起線列 *stridulation file* は短く揃っている、オスの触角はあまり変形しない。体形が似ているコマルケシ *H. acuminatus* は、*acuminatus* 種群に属し、オスの後基

節にある隆起線列 *stridulation file* がないことや交尾器がまったく異なることから区別は容易である。

西表島では、他のマルケシゲンゴロウ属とともに水田やため池の植生帯から得られた。このときは、コマルケシに次いで個体数が多く、ミナピシではライトトラップだけで採れた種も含めると既知の 6 種と合わせて本属 7 種すべてを確認することができた。本種は、体長や体形がよく似たコマルケシやマルケシと混同されているものと思われ、今後、さらに分布の解明が進むことが期待される。

引用文献

- Biström, O., 1997. Taxonomic revision of the genus *Hydrovatus* Motschulsky (Coleoptera, Dytiscidae). *Entomologica basiliensia*, 19: 57–584.
- Brancucci, M. & O. Biström, 2013. Review of the Hydrovatini, Hygotrini and Hyphyrini in Laos (Coleoptera, Dytiscidae). *Entomologica basiliensia et Collectionis Frey*, 34: 89–102.
- 森 正人, 北山 昭, 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 231 pp., 文一総合出版, 東京.

(2016年2月7日受領, 2016年2月27日受理)

定期購読のご案内

月刊むし

B5判, 56~80頁 毎月20日発売
定価1260円 (送料100円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



540号 (2016年2月号)

- ヤエヤマコクワガタを石垣島にて採集
- ヒメツチハンミョウの生態 (1)
- 京都府のチビヒメヒラタホソカタムシ
- カブトムシの一斉蛹化 (羽化) は、終齢幼虫期の低温刺激により惹起される
- 日本のチョウ (42)
- キタテハ属とサカハチチョウ属
- セダココバヤハスカミキリ探索記 (1)
- コガタヒメサビキコリの越冬生態
- 愛知県知多半島のウラゴマダラジミ

昆虫用品は

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月 予約 定価 7560円 → 7300円
12ヶ月 予約 定価 15120円 → 14600円
24ヶ月 予約 定価 30240円 → 29200円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。

郵便振替口座 00160-5-159262 むし社

新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。



月刊むし・昆虫図説シリーズ 6

世界のカブトムシ

【上】南北アメリカ大陸編

- ヘラクレスオオカブトは10頁のカラープレートで変異を細かく紹介。
- 同定の難しいタテツノカブト属は30種のうち27種を図示。

著者：清水輝彦

A4判124頁 (48カラー頁)

定価 8,424円 [送料サービス]

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209

Tel. 03-3383-1461 ~ 1462

Fax. 03-3383-1467